

第2期白石町子ども・子育て支援事業計画(案)に対するパブリックコメント意見及び回答

NO.	該当項目・ページ	意見・提案	左記に関する回答
1	p24 (育児休業の取得状況) p35 2基本目標	・父親の育休取得状況もまだ低い状況だと思いますが、父親の育児への主体的な参加については、特に盛り込めていないのかな?と。次世代の親を育成するためにも現世代の親も育成しましょう。	計画書(案)P79「基本目標5 仕事と生活の調和の推進」(1)子育てをするための働きやすい環境づくりの項目で触れています。 男性の家事や育児への参画については、佐賀県との共催による「マイナス1歳からのイクカジ推進事業」として啓発セミナー等に取り組んでおります。 P79(1)の中の「実施状況」や「今後の方向性」に中にも記載し、男性の家事・育児参加等の啓発に努めていきます。
2	p35 2 基本目標中 基本目標4 安心・安全な環境づくり	・安全、安心の中に、災害時の子どもの安全確保の項目があっても良いのではないのでしょうか。昨今の災害の多さは周知されておりますが、災害のたびに右往左往している印象があります。昨年の水害で、災害レベルが高いにも関わらず、「園は開くかも」と言った不確実な情報があり、非常に困りました。他の市町では、災害時の登園基準を設けているところもあります。あらかじめ、災害レベルで基準があると働く親は、前もって準備することができ、それは働きやすさ、子育てしやすさにつながります。ぜひ町で検討していただきたいと思います。	計画書(案)P76「基本目標4 安心、安全な環境づくり」(2)子どもを犯罪などの被害から守るための活動の推進の項目で触れています。 災害時の対応は利用されている施設によって対応が異なるため本計画への追記は致しませんが、今後関係各課・施設と連携して、登園基準等を検討していきます。 なお、大雨災害については、町全体、あるいは一部の地域に限定した避難情報が発令される場合もありますので、その時々で対応していることもご理解ください。また、町内一律に規制することも難しい面があります。ただ、一定の基準は必要と思いますので、今後関係各課等と連携し取り組んでいきます。 また、学校や保育園、幼稚園に通っている子ども達の場合、災害時にそれぞれの施設がどういう判断でどんな行動をとるのかをマニュアルにしています。ご自分のお子様が利用されている施設にお尋ねください。
3	p75 基本目標4 安心、安全な環境づくり	・居場所もいろいろあると思いますが、カリキュラムに縛られず、ゆっくりゆっくりと過ごし、子ども時間を取り戻す、「何もしない」ことを保証される場も必要だと思います。	いただいたご意見を参考にさせていただくとともに、今後も関係各課と連携し、子どもたちの遊びの場や居場所づくりを進めていきます。
4	p11 2 子育て支援の状況	・信頼度があるデータが得られてると感じる。1箇所、気になる部分は、各保育所の定員における実績データである。 当方は、入所させたい時期(0歳児)に叶わなかった事がある。町内の他の保育園にも空きはなかった。定員を下回っていても入所できなかったという事実がある。保育室の面積や在職する保育士の人数によっても限られると思うが、何歳児が定員を下回っているかなど、より具体的なデータがあれば、今後保育士の加配人数を考慮できると考えられる。	ご意見のとおり、保育士の人数によって定員を下回っていても受け入れができない場合があります。 この計画において、計画期間中の保育ニーズ(量の見込み(P43))については、ニーズ調査の結果や直近の利用実績から推計しております。今後0~5歳の人口は減少傾向が見込まれていますが、保育ニーズが集中する0~2歳児については、保護者等の就労状況や利用ニーズの動向等をみながら、適切に保育の受け皿を確保していきたいと考えています。
5	p66 2各種施策の実施状況や今後の展開 (1)母子保健事業等の推進充実	・基本的に多いに賛同する。 核家族、シングル世帯の増加に加え、白石町は他の市町村に比べ女性の就労状況も高い。しかしながら、育休取得率は低い傾向にある。 このことからわかるように、家庭における女性への家事・育児の負担が危惧される。 特に産後の定期的な助産師、保健師の訪問や匿名で相談できる窓口など、周囲に気にせず、気軽に頼れる場所の今以上の確保が必要だと感じる。	令和2年1月に「白石町子育て世代包括支援センター」を役場庁舎1F保健福祉課内に設置し、様々な相談にワンストップで応じることとしています。今後も関係機関とも連携しながら、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を提供、実施していきます。 また、相談には保健福祉課へのメールでも対応できます。 今後も出産準備教室、赤ちゃん訪問、乳幼児健診等、引き続き母子保健事業等を推進していきます。

第2期白石町子ども・子育て支援事業計画(案)に対するパブリックコメント意見及び回答

NO.	該当項目・ページ	意見・提案	左記に関する回答
6	p26 〈子育てする上で、近所や地域とのかかわりについて望むこと〉	・子ども達が安心して遊べる場所増やして欲しいとあるが、実現しているかわからない。	<p>子どもの遊び場、公園については、新規の公園整備は困難な状況ですが、既存の公園施設の充実などを含め、関係各課と今後検討していきます。</p> <p>また、子どもの居場所づくりとしては、放課後子ども教室事業として、おおどぼう倶楽部、ジュニア合唱教室を実施し、年間を通じた様々な体験活動を通して、自主性、積極性、協調性の向上に努め、子どもたちの健全育成を図っております。</p> <p>今後も、地域人材の協力のもと、継続的な事業実施を推進していきます。</p>
7	p36 基本目標6 施策 障害児施策の充実	・未就学の子どもが通う療育がない。	<p>気になる子どもの増加に伴い、療育指導を希望する保護者が増加しています。白石町では、毎月1回、専門のスタッフによる「子育て相談室」、「白石親子相談室」を開催し、必要に応じて医療機関や訓練機関につなげていますので、まずは役場保健福祉課へ相談をお願いします。</p> <p>療育(発達支援)を担っている機関としては、児童福祉法に基づく児童発達支援センターや児童発達支援事業所があります。これらの支援施設は未就学児(0～6歳)のお子さまが対象となっており、集団での支援や個別での支援がおこなわれています。また、小学生以上のお子さまは「放課後等デイサービス」の対象となります。自治体や運営している機関により、集団や個別などの支援形態、どのような支援が受けられるのかが異なるので、問い合わせや見学をお勧めします。</p>